

統合の小学校 心一つに歌おう

豊明・二村台小学校歌額を除幕



除幕された校歌額＝豊明市二村台の二村台小で

豊明市で本年度に開校した二村台小学校の校歌が完成し二十一日、同校体育館で校歌額の除幕式が開かれた。

同小は唐竹小学校と双峰小学校が統合し、双峰小の敷地に開校した。児童から校歌に入りたい言葉を募り、作詞を愛知教育大の奥田浩司教授

に、作曲を橋本剛准教授に依頼した。「豊かに明ける」で始まって三番まであり「ひまわりの花」「優しい心」が歌われている。

この日は六年生約七十人が体育館に集まり、他学年は教室からリモート参加。古川和男校長が「願いや気持ちの込

められた校歌を大切に歌い継いでいきましょう」とあいさつ。舞台横の壁面に設置された額から、来賓らが紅白のひもを引いて除幕した。木製の縦一・三層、横二・五層の板に黒い文字で歌詞が書かれている。新型コロナウィルス感染防止のため歌唱はせず、事前に音楽教諭がピアノ伴奏で録音した歌が流された。卒業式で正式にお披露目する。

式後に六年水野惟さんは「和音の響きやリズムが新しい感じ。さびの『輝くわれらの二村台小学校』のところが気に入りました」と笑顔で話した。

奥田教授は前の二校の校歌を参考に、学生の意見も聞いて三カ月かけて作詞し「希望や、仲良くという思いをくんで明るい雰囲気仕上げた」という。橋本准教授は周辺を歩き、地元に残るわらべ歌を間奏に生かした。「歴史を大切に、二長調ではつらつと歌えるように」と話していた。

(長坂幸枝)